

# 船舶事故等調査報告書

平成22年7月29日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010那第12号	
事故等種類	転覆	
発生日時	平成22年2月23日 21時30分ごろ	
発生場所	沖縄県うるま市天願 <sup>てんがん</sup> 棧橋南方沖 金武 <sup>きんかくすく</sup> 中城港電源開発シーバース灯から真方位185° 1.2海里付近 （概位 北緯26° 24.2′ 東経127° 51.0′）	
事故等調査の経過	平成22年2月24日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 乗組員等に関する情報	
死傷者等	なし	
損傷	船外機濡れ損	
事故等の経過	本船は、船長1人が乗り組み、沖縄県うるま市天願 <sup>てんがん</sup> 棧橋南東方沖の海岸を出発して昆布 <sup>こんぶ</sup> ビーチに向け、約150kgのヒジキを載せ船尾の乾舷が約10cmの状態となって航行中、針路を左に転じたところ、右舷船尾から波が打ち込み、平成22年2月23日21時30分ごろ、転覆した。 昆布 <sup>こんぶ</sup> ビーチで待っていた所有者が、本船が帰らないのを不審に思い、消防署に通報し、転覆した本船にしがみついていた船長は、ヘリコプターに救助された。	
気象・海象	気象：天気 晴、風向 北北東、風力 3 海象：波高 約0.5m、水温約21℃	
その他の事項	船長は、救命胴衣を着用していた。 船舶検査証書の有効期限は、平成19年2月19日までであった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり 本船は、夜間、天願 <sup>てんがん</sup> 棧橋南方沖を右舷船首から波浪を受ける状況で航行中、船尾の乾舷が約10cmであったため、針路を左に転じたところ、右舷船尾から波が打ち込み、転覆したのと考えられる。 本船は、約150kgのヒジキを船尾側に載せていたのと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、天願 <sup>てんがん</sup> 棧橋南方沖を右舷船首から波浪を受ける状況で航行中、船尾の乾舷が約10cmであったため、針路を左に転じたところ、右舷船尾から波が打ち込み、転覆したことにより発生したのと考えられる。	